

## 一般財団法人サンクゼール財団 選考委員会規程

### 第1条（目的）

この規程は、助成金の選考委員会（以下、「委員会」という）の構成及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

### 第2条（任務）

委員会は、理事会の諮問に応じ、定款第4条（事業）に掲げる助成金の対象の審査及び選定に関する事項を審議する。

### 第3条（委員）

- 1 委員会の委員（以下、「選考委員」という）は、その一部に有識者・学識経験者を含む者で構成されるものとし、理事会が選任し、代表理事が委嘱する。
- 2 選考委員は、3名以上とする。
- 3 選考委員の任期は原則として2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 任期の満了前に辞任した選考委員の補欠として選任された選考委員の任期は、辞任した選考委員の任期の満了する時までとする。
- 5 選考委員名は、公平性を担保するため原則として非公開とする。ただし、理事会において特に必要と認めた場合は、この限りでない。
- 6 選考委員は、当法人の理念を理解し、これを遵守する者でなければならない。

### 第4条（選考委員長及び選考副委員長）

- 1 委員会には選考委員長（以下、「委員長」という）1名、及び必要に応じ選考副委員長（以下「副委員長」という）2名以内をおくこととし、選考委員のうちから互選により選任する。
- 2 委員長の任期は1年とし、再任は妨げない。
- 3 委員長は、会議の議長となり、会務を総括する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代行する。

### 第5条（会議）

- 1 委員会の会議（以下、「会議」という）は、必要に応じ、委員長が随時招集する。
- 2 会議を招集しようとするときは、選考委員に対し、予め議題、日時、場所その他必要な事項を通知しなければならない。
- 3 委員会は、選考委員数の3分の2以上が出席しなければ、これを開くことができない。ただし、議題につき、書面をもって予め意見を表明した選考委員は、出席者とみなす。

- 4 委員会の議事は、出席した選考委員の過半数をもって決する。
- 5 委員長は、必要があると認めるときは、会議の招集を行わず、書面をもって選考委員の意見を求めることにより、委員会の議決に代えることができる。この場合においては、委員長はその結果について、各選考委員に報告しなければならない。
- 6 選考委員は、自己が申請者又は協力者である場合、その他特別の利害関係がある議案の審議及び議決に加わることができない。
- 7 委員会は、原則として、非公開とする。ただし、委員長は、適当と認める者に対して、参考人として会議への出席を求め、資料の提出、意見の開陳、説明その他の必要な協力を求めることができる。

#### **第6条（選考基準）**

助成の対象及び候補者の選考は、別に定める助成事業選考基準に基づいて行う。

#### **第7条（議事録）**

委員会の審議については、その経過及び結果を記録した議事録を作成する。議事録は原則として非公開とする。

#### **第8条（報告）**

- 1 委員長は、選考結果を一定の期間内に文書をもって理事会に報告するとともに、理事会の要請があるときは、理事会に出席して、その選考理由を説明しなければならない。
- 2 理事会は、選考委員会の選考結果に基づき、助成対象者を決定する。
- 3 代表理事は、理事会で決定された選考結果を助成対象者に電子メール等で通知するものとする。

#### **第9条（選考委員の責務）**

選考委員は、助成候補者の選考を公正に行い、選考の過程及び内容並びに選考委員の職務上知り得た秘密については、選考決定前及び選考結果発表後とも、他に漏らしてはならない。

#### **第10条（報酬等の支給）**

選考委員に対して、その職務執行の対価として、評議員会において別に定める報酬等及び費用に関する規程に従って算定した額を、報酬等として支給することができる。

#### **第11条（事務局）**

- 1 委員会の事務を処理するため、事務局を置く。
- 2 事務局は、この法人の事務局の職員若干名をもって構成する。
- 3 事務局の職員は委員会の会議その他の事務処理を通じて知り得た事実を他に漏らして

はならない。

#### **第12条(参考意見)**

選考委員会は、必要な場合には、外部の専門家を招聘して意見を聞くことができる。

#### **第13条(改廃)**

この規程の改廃は、代表理事が起案し、理事会の議決を経て行う。

#### **附則**

- 1 この規程の施行に関し、必要な事項は理事会が別に定める。
- 2 この規程は、2025年3月20日から施行する。